



令和6年5月
No.10
管理者 岩槻愛子

～児童発達支援～

新緑の木々、すがすがしさをを感じる季節になりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。新年度が始まり、あっという間の一ヶ月。少しずつ新しい環境に慣れ、子どもたちの笑顔も増えたように感じられます。反面、環境が変わった気疲れが出てくる頃かもしれません。子どもたちの体調の変化に配慮しながら専門職員とも協力して、毎日がわくわく元気な笑い声あふれる環境を提供できるようにしたいと思います。季節の変わり目ですので、健康にはくれぐれもご留意ください。

食事とことば ①

～食事も発音も「舌」と「唇」の動きが大きく関係～

私たちが食事をしている時に、お口の中でどんなことをしているか知っていますか？
まず食べ物を入れたら唇を『閉じ』ます。そして歯で『噛み』ます。噛んだ食べ物は頬にくっついたり、奥歯にくっついたり、色々な部分に広がっていきます。その広がった食べ物を私たちは舌を使って『かき集め』ます。まとめられた食べ物は再び喉へと『送り込まれ』ます。食事は、歯で噛むだけでなく、舌と唇が実は重要な役割を果たしているのです。



ではおしゃべりをするときはどうでしょうか？
実は、おしゃべりをするときに出す発音は、唇と舌を使って作りだしています。

例えば、「ま」という音なら、唇を閉じたところから、開くようにして「ま」の音を作ります。「か」の音であれば、口を開き、舌は少し後ろにひっこめた形で「か」の音が作られます。「か」の音を作る時には、唇は使いません。また、舌尖を上の前歯にくっつけるようにして「か」と言っても、「た」に近い音になってしまうかと思います。このように、おしゃべりをするときに必要な『音』を作り出すときには、唇と舌を正しい位置で上手に使えないと、きれいな音にはなりません。

このように、食事も発音も、「舌」と「唇」の動きが大きく関係しているのです。
次回に続く

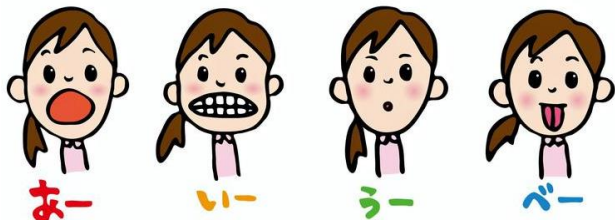
佐々木作業療法士 相談日

5月13日(月)・5月20日(月)

※お子様の発達について質問や相談などがありましたら、お気軽に職員にお声がけください。

特定非営利活動法人セミナーレ ほっぷ
988-0318
宮城県気仙沼市本吉町登米沢24番地1
☎:0226-25-7710
FAX:0226-25-7764
✉:seminare@iaa.itkeeper.ne.jp

おくちのたいそう



口には「食べる」「話す」「表情をつくる」など大切な機能があります。

舌が自由に動かせること、リラックスしている時に舌が上顎にくっついていること、唇が優しくしっかりと閉じていることがお口の発達に大切です。

ほっぷでは、遊びながらできるお口の体操に取り組んでいます。

ぺろぺろあそび

口のまわりについた海苔を舌だけでとります。回数を重ねるたびに舌の動きが良くなっています。



ストローを吹くと羽がくるくる回りながら浮かびあがります。長く吹き続けると羽がてっぺんまで到達！

むくむくおぼけ

ストローを吹いてふくらませたら、吸って袋をぺちゃんこにしてあそびました。



ストローしゃてき

たおしたい恐竜めがけて発射！ 一気に息を吹き込み上手にたおすことができました。

